

秋田内陸縦貫鉄道 安全報告書



2022 年度(令和 4 年度)版

この安全報告書は、鉄道事業法に基づき、当社における鉄道輸送の安全確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

皆様でご覧いただき、ご意見・ご感想をお寄せくだされば幸いです。

ご利用者および地域の皆さまへ

当社の鉄道事業に対し、日頃のご利用とご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に安全安定輸送を掲げており、法令の遵守と安全安心を基軸とする輸送サービスの提供に努めております。

令和4年度は、8月に大規模な災害が発生し、長期間代行バスによる輸送を余儀なくされ、お客様や地域の皆様には大変なご不便やご迷惑をおかけしました。おかげさまで多くのご支援を賜り12月に復旧し全線で運転を再開できました。皆様のお力添えに感謝申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまからのお声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見をお願い致します。

秋田内陸縦貫鉄道(株) 代表取締役社長 吉田 裕幸

2 当社の経営理念

A N J T W a y (ないりくせんうえい)

『私たちは安全安定輸送と価値あるサービスの提供により、人と人、地域の今と未来をつなぎ、心豊かで笑顔あふれる社会の実現に貢献します。』

3 基本方針と安全目標

(1)基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下社員全員に周知・徹底し、実行しております。

- ①一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- ④職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義あるときは安全と思われる取扱いをします。
- ⑤事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2)安全目標

輸送安全目標は、お客様の死傷事故ゼロ、社員の死亡事故ゼロです。

踏切障害事故等もゼロを目指し、引続き安全・安定輸送の確保と感染予防対策を含めた安心“乗車”の確立を目標に社員一同目標達成に向け全力で取り組みます。

4 2022年度事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 鉄道運転事故等……ありませんでした。
- (2) インシデント(事故の兆候)……ありませんでした。
- (3) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)……8月13日発生の豪雨災害により10か所の大規模場被災があり、12月12日までの期間、バスによる代行輸送を実施しました。
- (4) 踏切障害事故……ありませんでした。
- (5) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)
2022年度は、輸送障害が15件発生いたしました。内訳は下記の通りです。
自然災害……12件(水害6件、雪害3件、落葉2件、倒木1件)
電気関係……1件
鉄道係員……1件
その他……1件(保守用車故障)

(6) 行政指導等

6月に実施された東北運輸局による保安監査において施設検査等の改善措置の指摘を受け、適正な安全管理体制に資するよう改善措置及び結果報告を行いました。以後同様の指摘等を受ける事の無いよう、安全管理に重きを置き、ご指導を頂きながら業務を遂行してまいります。

5 輸送の安全確保のための取組み

(1)安全のレベルアップ

当社では、年度毎に安全計画を定めて取り組んでいます。

事故または事故のおそれがある事象については、ヒヤリハットの収集から、事象の徹底した原因究明に努めており、早期復旧と再発防止に取り組んでおります。

業務では、今年度も「基本動作・基本ルール」遵守と感染拡大防止のためのルール遵守の徹底を図りました。特に運転業務では、出区点検の実践確認を始めるなど、基本の再確認に力を入れております。

(2)安全風土の構築

当社では、輸送や皆さまの安全に役立つよう、テーマを決めて安全に対する取組みについて討議し、全社員に周知し実行しております。会社及び社員個々のリスク感度(危機管理能力)をより一層高め、事故及び事故の“芽”の正しい把握と事前に摘み取ることのできる組織を目指しております。箇所ごとの取組や「ヒヤリハット」事象を毎月の安全会議において各職場から発表・共有し、全社員で無事故、無傷害に努めました。

(3)変化への的確な対応と安全等教育

訓練会を活用し、異常時対応能力の向上を図りました。

2022年度も、毎月の定例乗務員指導訓練において様々な事例を参考にして指導訓練を実施しました。

また、東北鉄道協会技術力共有化事業の実車運転訓練会への参加や、安全マネジメント内部監査員研修など各種研修会に社員を積極的に参加させ安全意識の高揚とスキルアップを図りました。

(4)感染拡大予防対策

コロナウイルス感染等の拡大予防として、ガイドラインに沿った感染拡大予防措置を講じ、飛沫防止、消毒とお客さまへのマスク着用のご協力をお願いしました。駅及び列車内の換気や光触媒抗菌コートの施工を継続しました。レベルは引き下げられましたが、引き続き駅や列車ご利用時におけるご協力もお願いいたします。

(5)安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、収入の多くを安全関連施設への投資や施設・車両の修繕費にあてています。

2022年度は修繕費約224百万円の支出をしております。

このほか、国の踏切保安設備設置事業補助金を受けて、仙北市内中村踏切の4種から1種化の工事を実施しました。また国と県からの鉄道施設総合安全対策工事業費補助金を受けて、CTC装置更新とPRC新設工事の実施、踏切保安設備の更新1箇所、レールの重軌条化1,071m、木製マクラギ同種交換80本、木製マクラギのPCマクラギへの交換700本、ホーム改修1箇所、踏切道改修1箇所、橋梁調査、全線の軌道整備、融雪設備の修繕、旅客車両のワンマン機器更新(1両)、全般検査(1両)、重要部検査(1両)、車両修繕(2両)、車輪車軸取替(2両)、保守用車修繕(1両)などを実施しました。

また、三セク鉄道安全対策支援金(除雪支援)を受け、中古除雪車両の運搬整備の実施、三セク鉄道省エネ化改修事業を受けて駅舎等の照明設備のLED化を実施しました。



8月被災現場

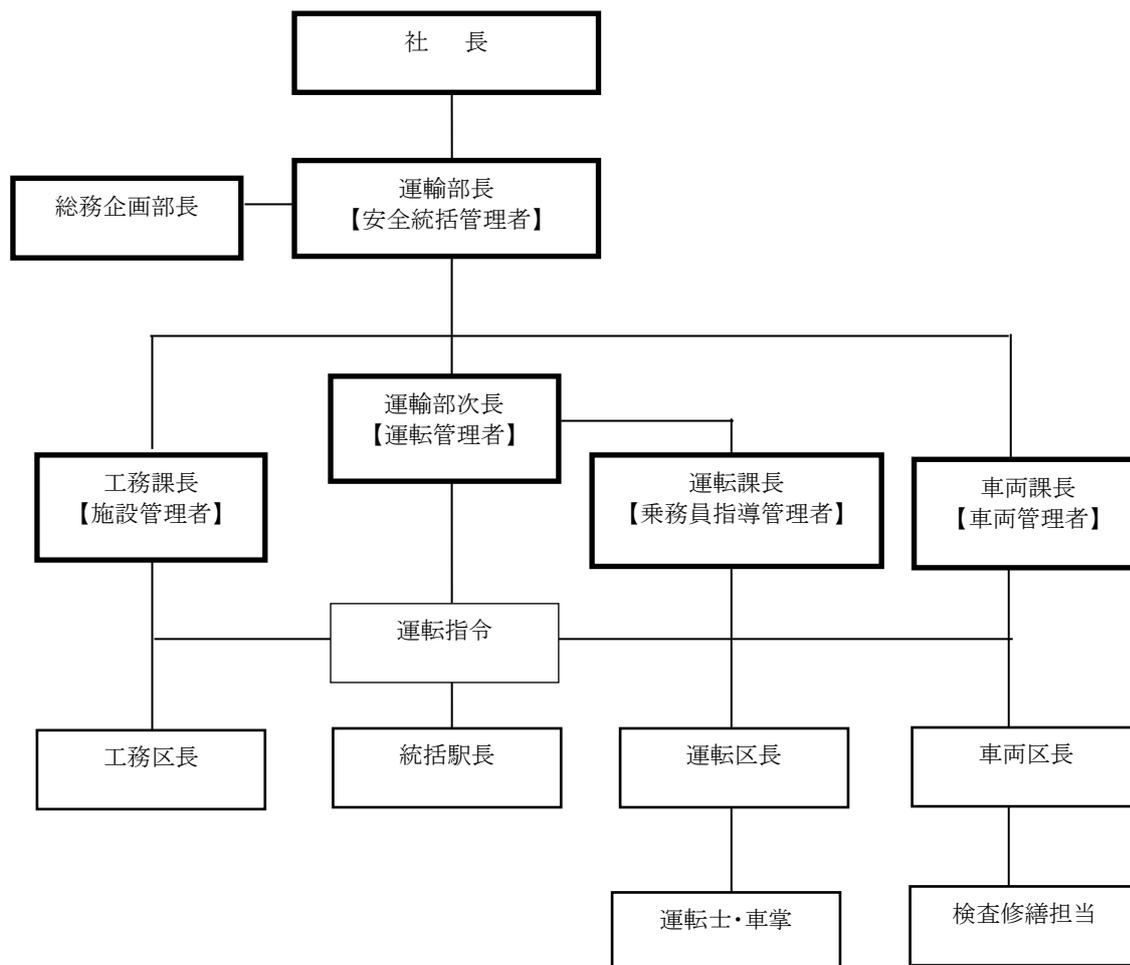


教育訓練



中村踏切

6 当社の安全管理体制



役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
運輸部長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転課長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運転区長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
工務課長 (施設管理者)	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両課長 (車両管理者)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総務企画部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

7 地域の皆さまとの連携

- (1) 2022年度も、地域の魅力を再発見しながら秋田県内外のお客様にご利用いただくべく文化や自然を活かしながら誘客を図ってまいりました。また、観光車両を急行列車に運用し沿線文化の魅力をPRしながら、秋田県、北秋田市、仙北市からのご支援で貸切車両利用増、リピーターのお客様獲得、秋田県内の教育旅行の利用拡大に取り組み、多くの皆様にご利用いただき、地域の文化と魅力をアピールすることができました。
- (2) 地域活性化事業などによる駅周辺の環境改善や無人駅清掃などの地域ボランティア活動も行われ、沿線の草刈除草など環境整備も更に改善されました。また、各駅では地域の皆様や施設の方々の花の植栽やプランターの設置による構内の魅力アップを実施して頂き、車窓からお客様の目を楽しませて頂いております。今年も駅環境の美化運動へのご協力、誠にありがとうございました。
- (3) 当社は、路線の走る北秋田市の素材を活用した地域PRを図る団体『やってみよう！北秋田』に参画しており、団体の事務局を担いながら今年度は、「ローカルエッセイコンテスト」でエッセイを募集してのエッセイ集の作成や「チャリ鉄のススメ」動画制作など地域の魅力をアナログとデジタルで伝える活動に力を入れました。
- (3) 沿線地域夏の一大イベント『田んぼアート』は、今期も沿線の農家の皆さん、地域振興局、市役所、建設業協会、仙北市小松・東前郷環境保全協議会など多くの皆さんと連携して沿線5か所において実施されました。今年も内陸線の車窓からの眺めが特等席であることをPRし、ご乗車のお客様に楽しんでいただきましたが、8月の災害により3箇所が車窓から見ることでできない状態となりました。残念ながら皆様に満喫いただけないこととなりましたが、同じ8月には笑内駅最寄りにひまわり迷路を制作いただき短い夏の沿線の名物が1つ増え多くの皆様にお楽しみ頂きました。たくさんの皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。
- (4) 各種イベント列車運行の際にも、地域の皆様からご協力いただいております。人気企画『ごっつお玉手箱列車』や『山のごちそう列車』などは、感染予防を図りながら、地域の皆様と連携し今期も多く催行できました。また、おひな様列車の吊るし雛や車内のおひなさまの絵の車内飾りと数年ぶりに阿仁のおひな祭りの開催など、様々な場面で多くの皆様からご協力いただいているほか、今期も秋田市の結婚式場センターラセゾン千秋公園様と連携した県内素材に特化したフレンチレストラン列車を実施できました。様々な場面で多くのお客様にお楽しみ頂くことができました。改めましてご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。



チャリ鉄のススメ



列車と田んぼアート



ひまわり迷路から

8 ご連絡

安全報告書へのご感想、当社の安全やサービスの取組みに対するご意見をお寄せください。

秋田内陸縦貫鉄道株式会社 運輸部	
電話 0186-82-3231	FAX 0186-82-3793
E-mail n-info20@akita-nairiku.com	
■月～金 8:30～17:00	